



平成29年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年4月13日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東
 コード番号 3266 URL http://www.fc-group.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 阪本 浩司 TEL 03 (5212) 5212
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第1四半期の連結業績（平成28年12月1日～平成29年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第1四半期	69	△93.7	△70	—	△72	—	△73	—
28年11月期第1四半期	1,116	99.2	85	△15.0	80	△16.4	69	△22.2

(注) 包括利益 29年11月期第1四半期 △65百万円 (—%) 28年11月期第1四半期 70百万円 (△35.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第1四半期	△1.97	—
28年11月期第1四半期	1.87	1.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年11月期第1四半期	3,713	2,160	58.1	57.80
28年11月期	3,143	2,263	71.9	60.55

(参考) 自己資本 29年11月期第1四半期 2,158百万円 28年11月期 2,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	—	—	1.00	1.00
29年11月期	—	—	—	—	—
29年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 平成29年11月期の配当金につきましては、現在はまだ未定です。

3. 平成29年11月期の連結業績予想（平成28年12月1日～平成29年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,576	37.3	427	16.3	413	17.8	343	5.8	9.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては開示を控えております。詳細につきましては、添付資料3ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規一社（社名）一、除外一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年11月期1Q	37,465,371株	28年11月期	37,465,371株
② 期末自己株式数	29年11月期1Q	127,500株	28年11月期	127,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年11月期1Q	37,337,871株	28年11月期1Q	37,337,871株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等に付いては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年12月1日～平成29年2月28日）における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策の継続に伴い企業業績の向上や雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかながらも回復基調で推移しました。しかしながら、米国新政権の政策変更やそれに伴う世界経済への影響による不確実性の高まり、英国のEU離脱問題、新興国経済の景気減速や世界的な地政学リスクの高まりにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業が属する不動産業界においては、日銀の金融緩和政策の継続による良好な資金調達環境を背景に、J-REITのみならず事業会社や私募ファンド投資家による大規模な取引が行われる等、不動産市場の回復はより鮮明となってきております。また、太陽光発電業界におきましては、電力の固定買取制度の見直しや税制面での優遇措置の改正等が行われておりますが、長期にわたって安定して高い利回りが期待できる点、残価リスクがほばない点、現在の良好な資金調達環境などにより、今後は利回り商品としての需要拡大が見込まれております。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業におきましては、引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて、タックスマネジメント・ファンドなど投資家ニーズにあった魅力的な商品開発に努めてまいりました。また、インベストメントバンク事業においては、太陽光発電設備の開発を進めたほか、割安な不動産物件への投資・バリューアップを行うべく国内外の物件のソーシングに努め、米国西海岸の不動産物件の取得を新たに行いました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高69百万円（前年同四半期比93.7%減）、営業損失70百万円（前年同四半期は85百万円の営業利益）、経常損失72百万円（前年同四半期は80百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円（前年同四半期は69百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

<アセットマネジメント事業>

当第1四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は173億円（一部円換算US\$1.00=112.56円）、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は215億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬等を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業につきましてもアセットマネジメントフィー等を計上いたしました。この結果、アセットマネジメント事業全体では、売上高44百万円（前年同四半期比54.3%減）、営業損失0百万円（前年同四半期は37百万円の営業利益）となりました。

<インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、保有不動産の賃料収入等により1百万円を計上いたしました。また、開発中の太陽光発電設備については、計画通りの完工及び売電開始に向け開発を進めました。証券投資等部門では、証券運用益や金融商品仲介業務による報酬等を23百万円計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業全体では、売上高24百万円（前年同四半期比97.5%減）、営業損失8百万円（前年同四半期は105百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産の状況)

流動資産は、前連結会計年度末比、販売用不動産が207百万円、未成工事支出金が456百万円等増加しましたが、一方で現金が204百万円、立替金が19百万円等減少したことにより、全体では515百万円増加し3,121百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末比、土地が53百万円増加したこと等により、全体では54百万円増加し591百万円となりました。

(負債の状況)

流動負債は、前連結会計年度末比、借入金が610百万円増加したこと等により、全体では653百万円増加し1,452百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末比、借入金が20百万円増加したこと等により、100百万円となりました。

(純資産の状況)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末比では102百万円減少し2,160百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、上記のとおりであり、平成29年1月13日付で発表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、今後の業績等につきましては、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社グループの主たる事業であるファンド事業の業績は、経済情勢や相場環境、ファンドの組成時期等により大きな影響を受けるため、第2四半期連結累計期間の業績予想の開示は控えさせていただいております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,730	1,526
売掛金	18	16
未収入金	161	162
有価証券	118	133
営業投資有価証券	323	332
販売用不動産	122	330
未成工事支出金	42	499
立替金	54	34
その他	34	86
流動資産合計	2,606	3,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10	10
工具、器具及び備品（純額）	11	10
土地	348	402
有形固定資産合計	370	423
無形固定資産		
投資その他の資産	2	2
投資有価証券	87	89
その他	76	76
投資その他の資産合計	164	166
固定資産合計	537	591
資産合計	3,143	3,713
負債の部		
流動負債		
短期借入金	450	1,035
1年内返済予定の長期借入金	-	25
短期社債	200	200
未払金	77	72
未払法人税等	16	1
賞与引当金	-	17
預り金	13	24
前受収益	9	9
その他	32	67
流動負債合計	799	1,452
固定負債		
長期借入金	-	20
その他	80	79
固定負債合計	80	100
負債合計	880	1,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,169	1,169
資本剰余金	655	655
利益剰余金	406	295
自己株式	△7	△7
株主資本合計	2,224	2,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	44
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	36	44
新株予約権	2	2
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,263	2,160
負債純資産合計	3,143	3,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)
売上高	1,116	69
売上原価	853	10
売上総利益	263	59
販売費及び一般管理費	177	129
営業利益又は営業損失(△)	85	△70
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	1
その他	0	1
営業外収益合計	2	2
営業外費用		
支払利息	4	3
支払手数料	4	1
その他	0	0
営業外費用合計	8	4
経常利益又は経常損失(△)	80	△72
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	80	△72
法人税、住民税及び事業税	10	0
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	10	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69	△73
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	69	△73

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年12月1日 至 平成28年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69	△73
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	7
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	0	7
四半期包括利益	70	△65
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70	△65
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	98	1,015	3	1,116
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	98	1,015	3	1,116
セグメント利益又は損失(△)	37	142	△37	142

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	142
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△58
四半期連結損益計算書の営業利益	85

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年12月1日 至 平成29年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	アセットマネ ジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	44	1	23	69
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-
計	44	1	23	69
セグメント利益又は損失（△）	△0	△22	13	△9

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	△9
セグメント間取引消去	0
全社費用（注）	△61
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△70

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。